

令和5年 水稲病害虫発生状況（通年）

1 調査の概要

- (1) 育苗期調査施設・ほ場数… 中通り： 23 施設・ 58,691 箱
会津： 12 施設・ 18,348 箱
浜通り： 6 施設・ 6,935 箱
- (2) 巡回調査地点・ほ場数… 中通り： 15 地点・ 120 ほ場
会津： 11 地点・ 84 ほ場
浜通り： 9 地点・ 65 ほ場
- (3) すくい取り調査地点数… 中通り： 16 地点
会津： 12 地点
浜通り： 10 地点
- (4) 調査方法 育苗期調査…施設内の育苗箱を見歩き調査
巡回調査…1ほ場当たり25株を畦畔から調査
すくい取り調査…畦畔、水田内とも20回振りて実施

2 病害

(1) 育苗期病害

ピシウム属、フザリウム属、トリコデルマ属による苗立枯病の発生が確認され、発生箱割合は平年より高くなりました。

ばか苗病は温湯消毒を行った施設を中心に発生が確認され、発生箱割合は平年よりやや高くなりました。

もみ枯細菌病は近年発生がほとんど確認されていませんでしたが、本年は平年並の発生となりました。育苗期の高温によって発生が助長されたと考えられます（図1）。

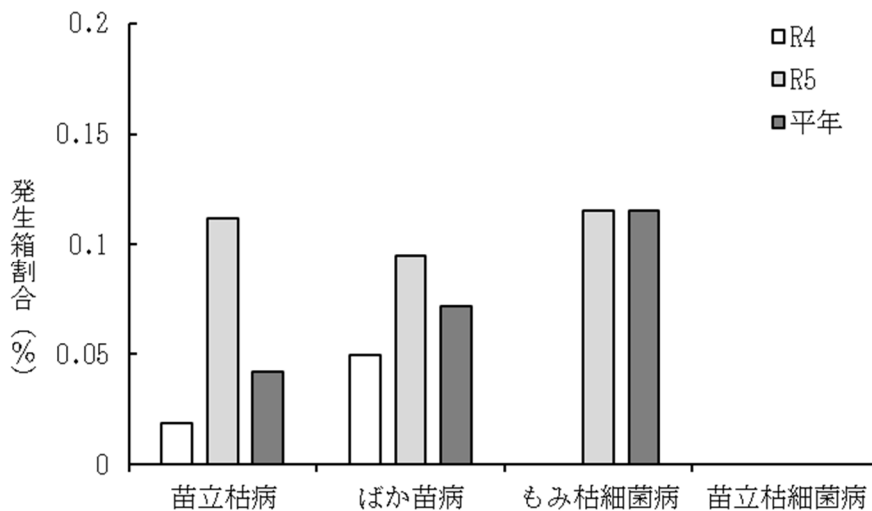


図1 育苗期病害の発生状況

(2) 葉いもち

BLASTAMによる感染好適条件は、6月中旬、7月中下旬に県内の広範囲で出現しました。

補植用置苗の残存ほ場割合は6月上旬、下旬とも平年より低く、置苗での発病は確認されませんでした(図2)。

本田での初発確認は中通りで7月下旬、浜通りで7月上旬でした。会津では8月上旬の調査まで葉いもちの発生が確認されませんでした(表1)。

8月上旬の発生ほ場割合は中通り、浜通りで平年より低く、発生程度はすべて「微」発生でした。会津では発生が確認されませんでした(図4)。

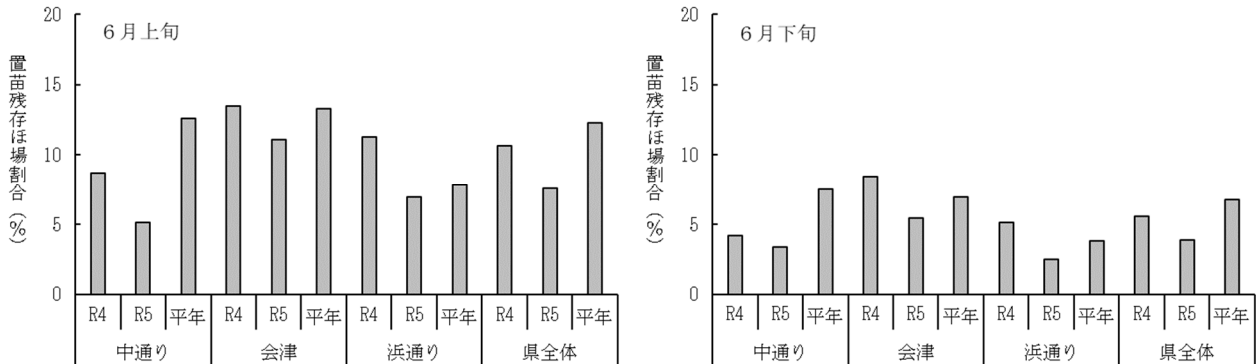


図2 置苗残存ほ場割合の推移

表1 葉いもちの初発確認日の推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
中通り	7/5	7/3	7/1	7/5	7/12	8/2	8/6	7/6	7/1	7/20	7/21
会津	7/16	7/8	7/7	7/27	7/26	7/11	7/30	7/22	8/6	7/7	—
浜通り	7/17	7/4	8/4	7/4	7/20	7/6	7/9	7/29	7/2	7/21	7/4

注) 「—」は8月上旬までに未確認を表す。

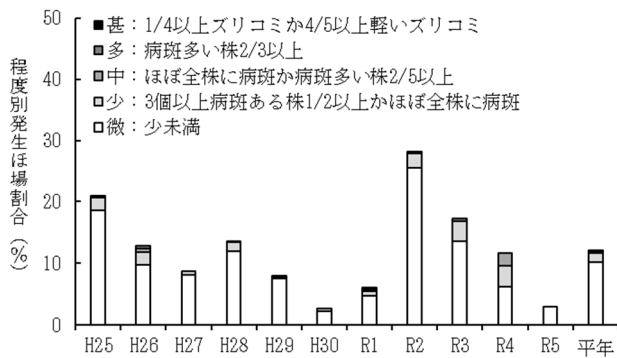


図3 葉いもちの発生状況の年次推移
(8月上旬、県全体)

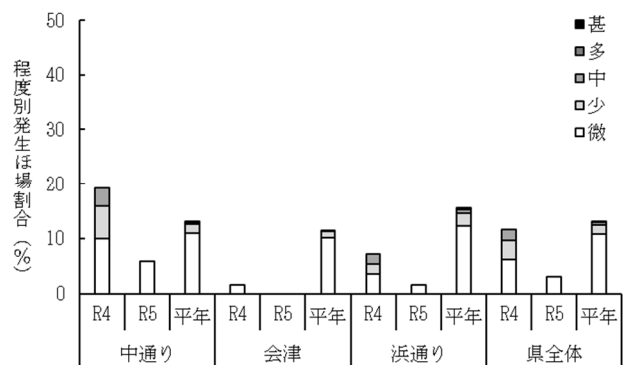


図4 葉いもちの発生状況
(8月上旬)

(3) 穂いもち

初発確認日は全域で平年並の8月下旬でした(表2)。

9月上旬の発生は場割合は中通り、浜通りで平年より低く、会津では発生が確認されませんでした。発生程度はすべて「少」発生以下でした(図5)。

表2 穂いもちの初発確認日の推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
中通り	8/21	8/21	8/18	8/19	8/22	8/21	8/21	8/18	8/23	8/24	8/22
会津	8/22	8/20	8/19	8/24	8/24	8/22	9/13	8/17	8/30	8/19	8/24
浜通り	8/21	9/4	8/21	8/22	9/4	9/4	9/10	8/18	8/24	8/24	8/21

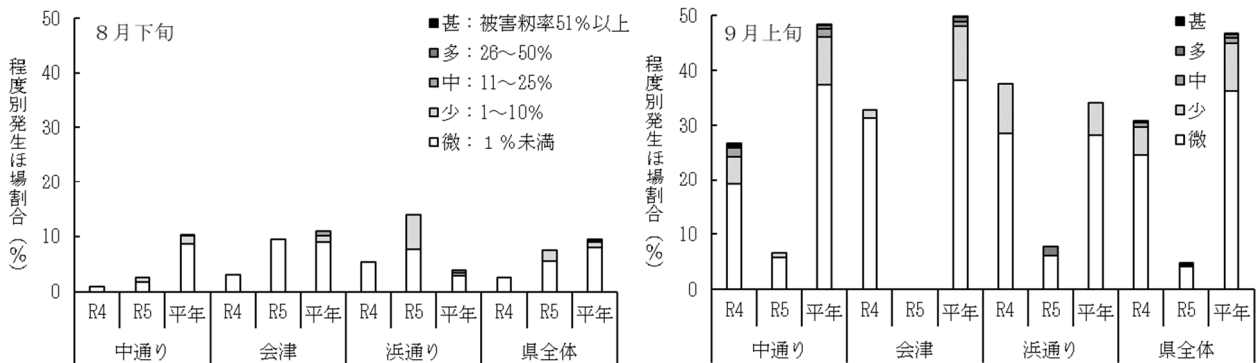


図5 穂いもちの発生状況

(4) 紋枯病

初発確認日は全域で平年並の7月下旬でした(表3)。

発生は場割合は8月下旬、9月上旬ともに中通り、会津で平年より低く、浜通りで平年並でした。高温の影響により、一部の地域では穂枯れや止葉の枯死など、発生程度の高いほ場も確認されました(図6)。

表3 紋枯病の初発確認日の推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
中通り	7/17	7/16	7/15	7/20	7/21	7/20	7/26	7/21	7/20	7/26	7/21
会津	7/16	8/5	7/15	7/27	7/26	7/25	7/25	7/22	8/6	7/26	7/27
浜通り	8/7	8/1	7/14	7/25	7/20	7/23	8/5	7/29	8/4	7/25	7/24

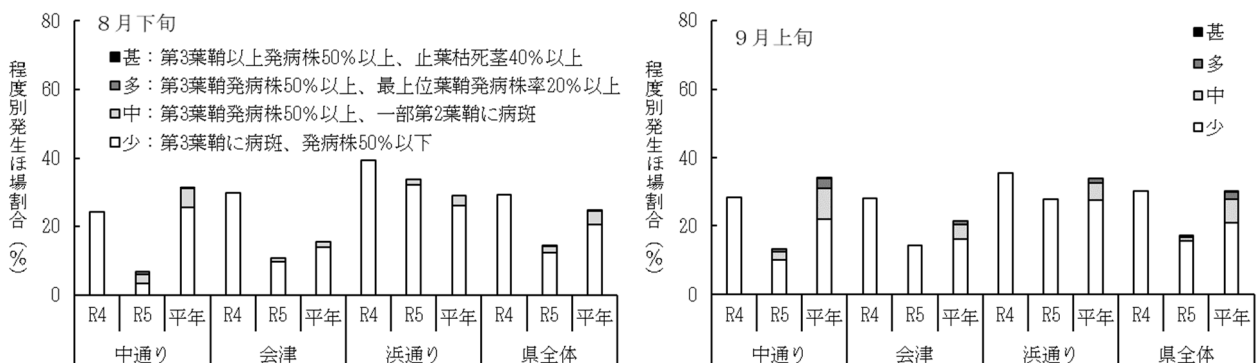


図6 紋枯病の発生状況

(5) 稲こうじ病

9月上旬の発生ほ場割合は中通り、会津で平年より低く、浜通りでは発生が確認されませんでした。発生程度はすべて「微」発生でした(図7)。

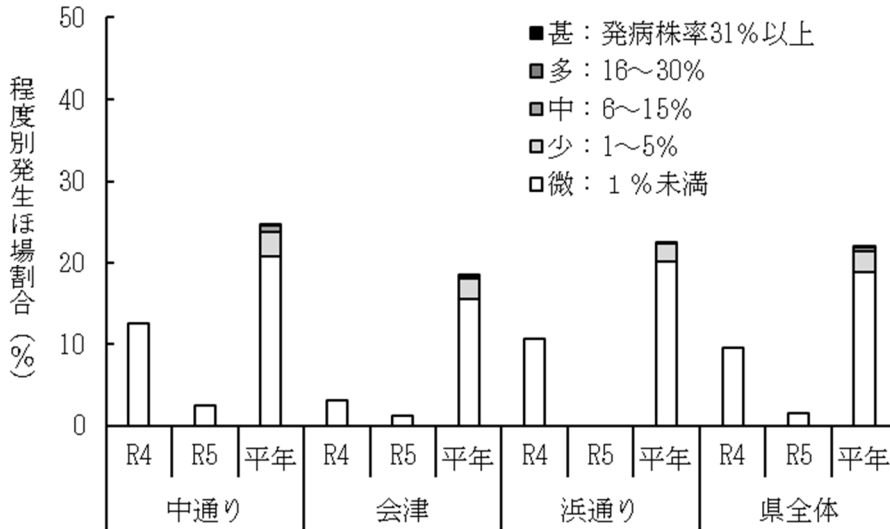


図7 稲こうじ病の発生状況(9月上旬)

(6) ごま葉枯病

9月上旬の発生ほ場割合は中通り、会津で平年より低く、浜通りで平年並でした。発生程度はすべて「少」発生以下でした(図8)。

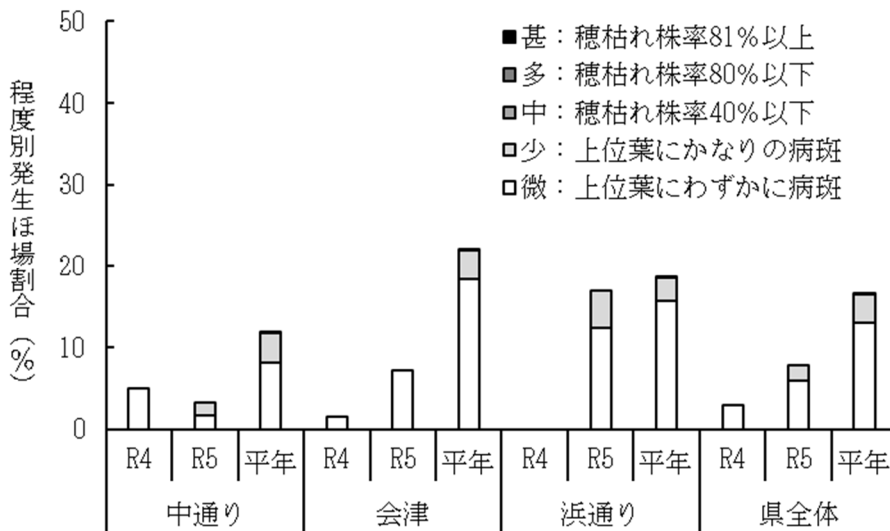


図8 ごま葉枯病の発生状況(9月上旬)

3 虫害

(1) イネミズゾウムシ

本年は浜通りを中心に早期から水田内への侵入が確認され、6月上旬の発生ほ場割合は全域で平年より高く、中通り、浜通りでは発生程度の高いほ場も散見されました(図9)。

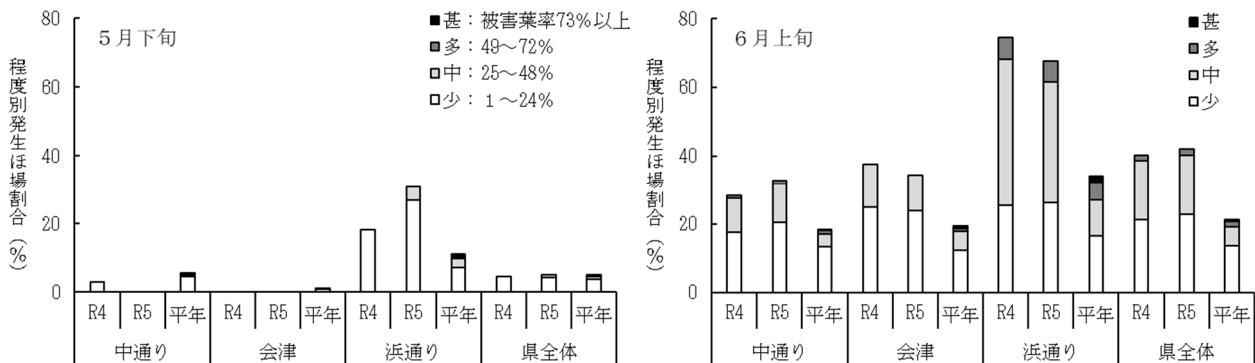


図9 イネミズゾウムシの発生状況

(2) イネドロオウムシ (イネクビボソハムシ)

5月下旬の調査では、ほ場への越冬成虫の侵入は確認されませんでした。

幼虫及び新成虫の被害は6月上旬から確認され、中通りでは発生程度の高いほ場も確認されました(図10)。

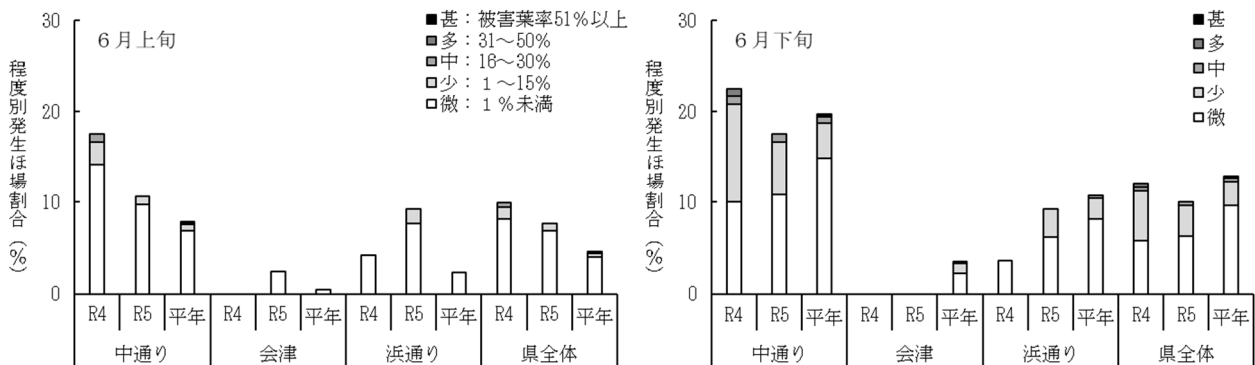


図10 イネドロオウムシの発生状況

(3) イネヒメハモグリバエ

調査期間中の発生はほとんど確認されませんでした。

(4) イネツトムシ (イチモンジセセリ)

幼虫による本田での被害はほとんど確認されませんでした。

(5) イナゴ類

栽培期間を通じて平年より少ない発生でした。

8月下旬の発生ほ場割合は全域で平年より低くなりました(図11)。

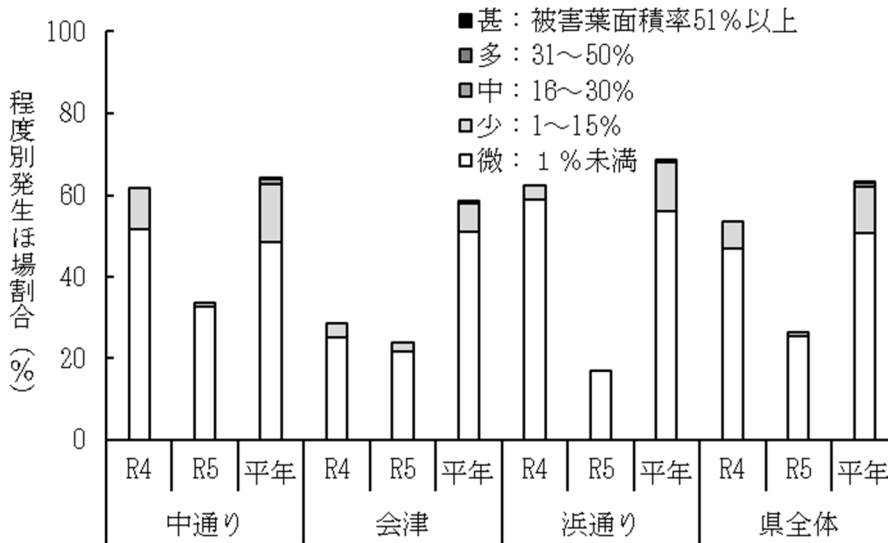


図11 イナゴ類の発生状況 (8月下旬)

(6) イネアオムシ (フタオビコヤガ)

見取り調査、すくい取り調査ともに発生はほとんど確認されませんでした。

(7) コブノメイガ

調査での発生は確認されませんでした。

(8) ニカメイチュウ (ニカメイガ)

8月上旬の発生ほ場割合は中通りで平年よりやや高く、浜通りでやや低くなりました。会津では発生が確認されませんでした(図12)。

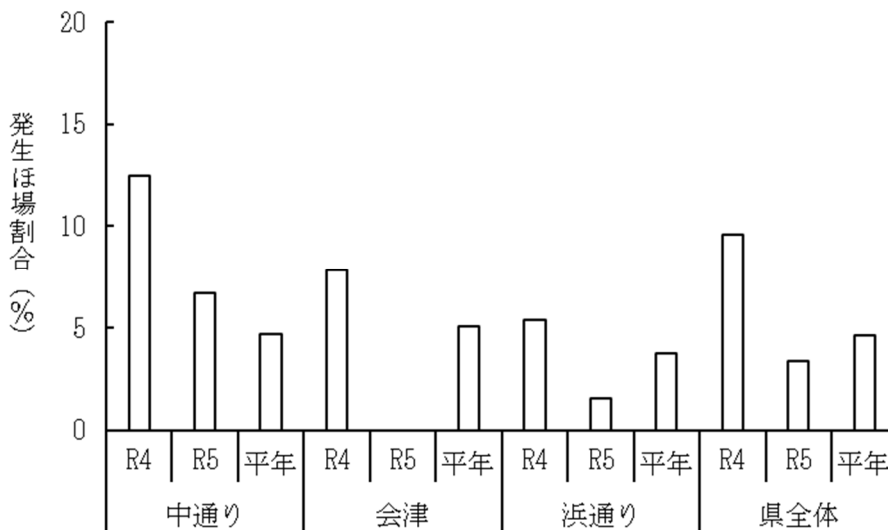


図12 ニカメイチュウの発生状況 (8月上旬)

(9) 斑点米カメムシ類

7月下旬の畦畔すくい取り調査では、発生地点割合は全域で平年並から高く、発生程度も高くなりました（図13、14）。

9月上旬の水田内すくい取り調査では、発生地点割合は中通り、会津で平年並、浜通りでやや高くなりました（図15、16）。

発生種別では、畦畔、水田ともに全域でカスミカメムシ類とホソハリカメムシが、中通りの一部と浜通り全域でクモヘリカメムシが捕獲されました（図17、18）。

また、いわき市では8月下旬にイネカメムシが捕獲され、県内ではおよそ40年ぶりの発生確認となりました（詳細については令和5年9月14日付け防除情報を参照）。

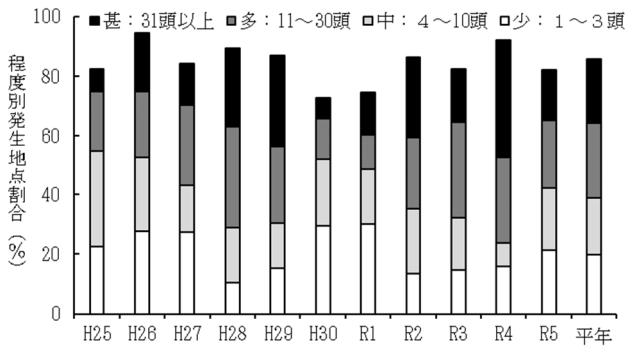


図13 すくい取り調査による斑点米カメムシ類
程度別発生地点割合の年次推移
(7月下旬、畦畔)

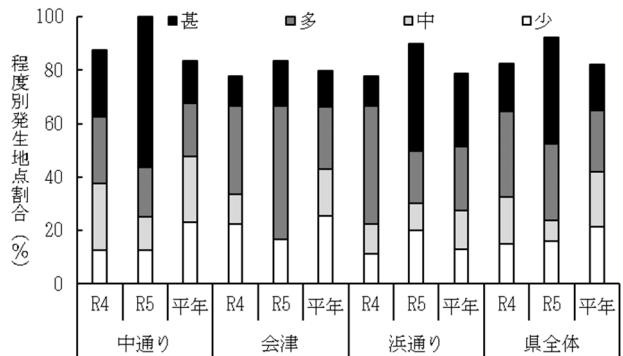


図14 すくい取り調査による斑点米カメムシ
類の発生状況（7月下旬、畦畔）

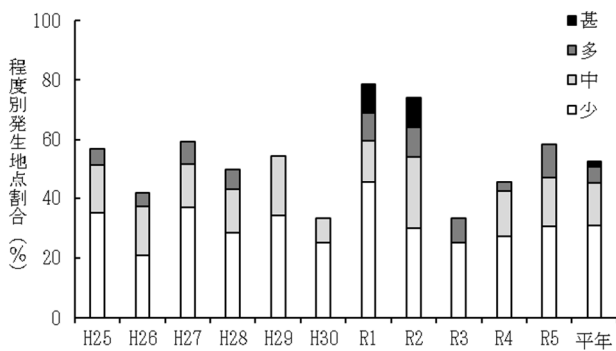


図15 すくい取り調査による斑点米カメムシ類
程度別発生地点割合の年次推移
(9月上旬、水田内)

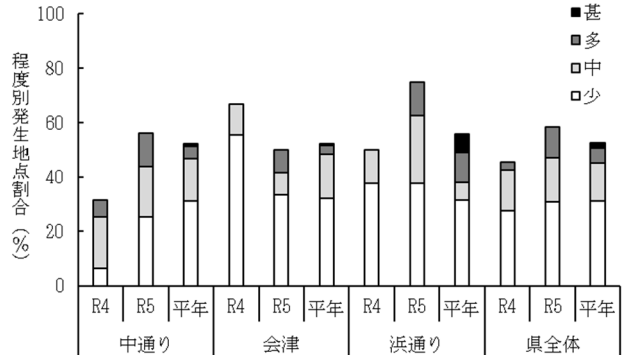


図16 すくい取り調査による斑点米カメムシ
類の発生状況（9月上旬、水田内）

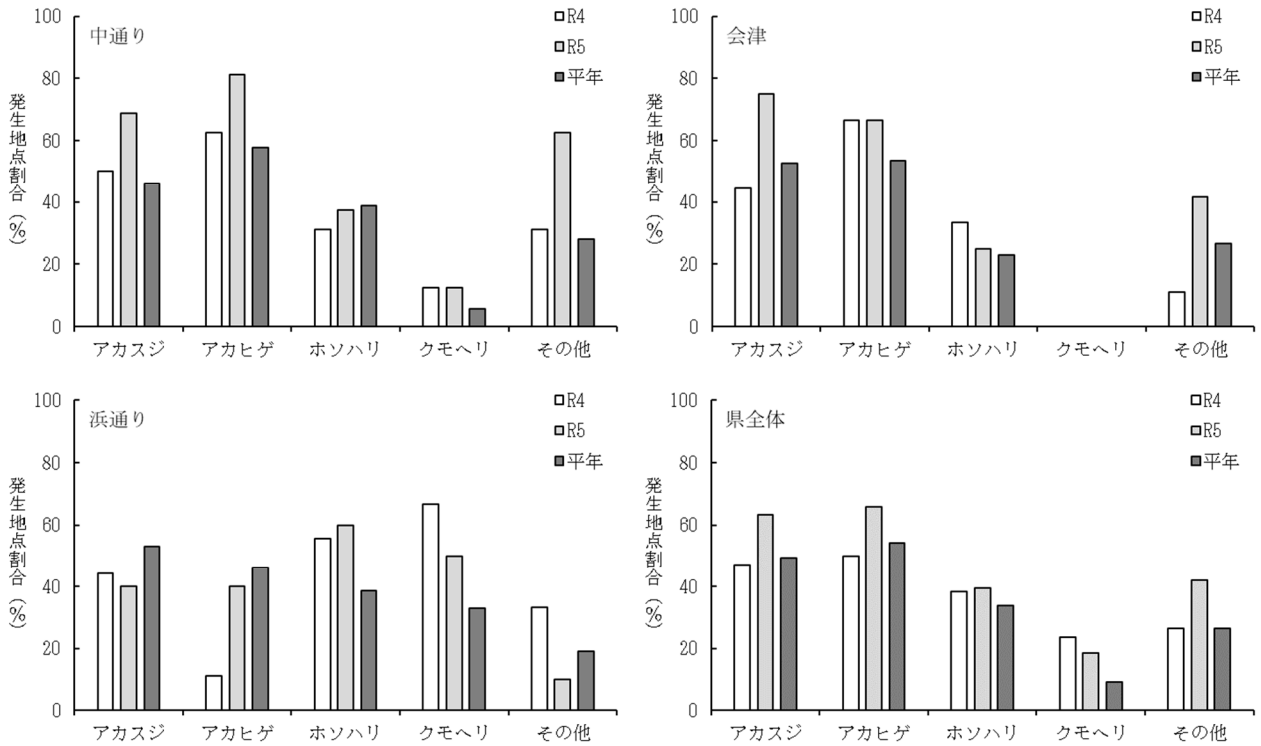


図 17 すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（7月下旬、畦畔）

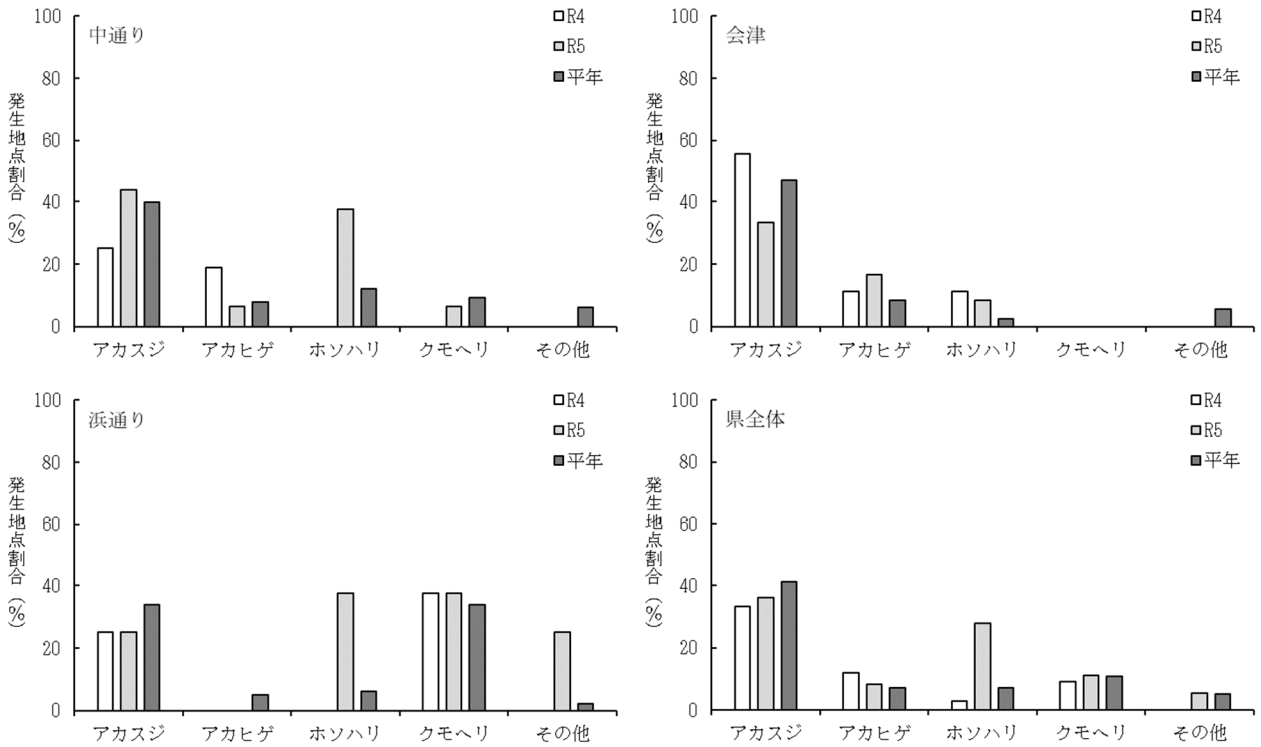


図 18 すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（9月上旬、水田内）